慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	加藤肥後守忠廣の詩に就て
Sub Title	
Author	國分(Kokubu)
Publisher	三田史学会
Publication year	1922
Jtitle	史学 Vol.1, No.4 (1922. 8) ,p.72(550)- 72(550)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白錄
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19220800-0072

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

加藤肥後守忠廣の詩に就て

加藤忠廣が出羽莊内丸岡謫居中の詩で且つ自筆であると、世人稱して居る、人間萬時定不定、身似明星西亦東、三十一年如一夢、醒來庄内破簾中、と云ふ詩は故古香羽柴雄輔翁（加藤忠廣謫居事蹟著者）の説では之は莊内酒井家に預けられた、高力伊豫守常長が自己と同樣の境遇であつた、加藤忠廣を追憶して加藤忠廣てふ題の下に作つて書留たものであらうと云ふので其證としては、元加藤家の臣下で後に酒井家に仕へた嘗野氏の子孫が傳來して現今は山形縣酒田本間家の所藏になつて居る寶物には

加藤肥後守忠廣

人間萬事唯無定（前には常と書き後定と改めたる樣見ゆ）身似明星西亦東

三十六年如一夢　覺來庄内破簾中

とあり又加藤家の菩提寺である山形縣鶴岡七日町本住寺の寶物には

身似明星西又東　人間萬事定不定　三十六年如一夢　覺來莊内破簾中

とあるのであるが彼の本間家の寶物になつて居る自筆てふものと、高力常長が莊内に下りし時莊内清川の大莊屋であつた、齋藤宗明氏の所藏の

題清河邨齋藤某亭

屋上對青山、　疊翠高天秀、　主人其着心、　宣悟仁者壽　高力顯長甫書

と云ふ高力常長の自作自筆もの、とを比較すると書風が全く同じである。又た高力氏の詩には

急離父母去何處　皆是自然非可憐　雖朽身體東奥地　丹心未忘致君忠

と云ふ詩風から推しても彼の加藤忠廣自作自筆と云ふて居る、彼の酒田本間家の所藏品は高力常長（顯長）の自作自筆であらうとの事であつた。尙高力氏の詩及和歌も數首ある筈なるが今手元に資料がないから追て又述べやうとの事であつたが其中羽柴翁は沒されたので洵に遺憾な事であつたのである。（國分生）